



Nagasaki Institute of Applied Science

2007  
MARCH  
**学報**  
No.88

編集・発行：入試広報課



特集

「卒業」

ISO14001認証取得

Next Door

**長崎総合科学大学**

URL <http://nias.jp/>

# 新年度に向けて



理事長  
行徳 威夫

日本経済の現況は内閣府の月例経済報告（平成19年1月）によると、「景気は、消費に弱さがみられるものの、回復している。」と経済全体に明るい兆しが見えているといわれています。しかし格差問題、教育改革問題、高齢化と福祉問題、少子化問題等々幾多の多難な課題に直面し、特に長崎のような地方都市では明るい兆しが見えないのが現況です。

特に近年顕著な少子化の影響は、私立学校の経営環境全体を大変厳しい状況に追い込んでいます。平成17年度に入学定員を満たしていない私立学校は160校（29.5%）にのぼっています。また帰属収入で消費支出を賄えない学校法人の割合は、明確な増加傾向は見られないものの、平成16年度の統計では全体の24.8%となっています。本法人もこの少子化の影響の真っ只中にあり平成19年4月の入学者減の大きな要因になっております。

本書の建学の精神に見られるように、これまでも個性豊かな教育研究を行なう高等教育機関として発展してきましたが、今後とも安定した経営基盤の上に特色ある教育研究活動を展開し、地域社会の要請に応え持続ある成長をすすめるためには、理事者、教職員全員が本書の置かれてある社会的状況と現況から危機意識を共有し、「学生第一主義の活力ある学園づくり」を推進しなければなりません。本書を取り巻く現況を打破し、持続

ある成長を目指して、「将来構想委員会（仮称）」を早急に設置し、そのための具体策を検討・実行してまいります。

**学生第一主義の活力ある学園づくり**  
学園の全員の結束し、「教育力の強化」に努めます。

教員の教育研究におけるレベルアップはもちろんのこと、学生・生徒の基礎知識力、常識力、コミュニケーション力等のレベルをワンランク・アップする活動を進め、学生・生徒、保護者それに社会から喜ばれる人材育成を行います。

また、事務関係では「企画・管理分野の強化」を図ります。

本法人の理事会は、建学の精神と大学の理念に基づき「学園ビジョン」と「中期運営方針」を策定しました。これらの運営方針に従い関係各分野で「2007年度大学・大学院運営方針」、「2007年度大学事務局運営方針」および「2007年度附属高校運営方針」を作成し、実行していきます。現在の本学が抱える大きな課題は外部の社会環境の構造と内部環境の構造のミスマッチにあります。今年度はこのミスマッチをなくすためさまざまな改革、改善を実施してゆきます。

**・新しい時代の要請に応えた魅力ある学部づくり**

平成19年4月より電気電子情報工学科を電気電子工学科に改称し、「医療電子コース」を新設しました。1987年に「臨床工学技士法」が施行され、現在約2万人の「臨床工学技士」がいますが、その充足率は全国平均で約6割、地方による差は大きく長崎県では約2割といわれています。しかも、医療機器および技術はますます高度化、情報化される傾向にあり、これらの医療機器を取り扱う「臨床工

## 中長期運営方針

（創造性豊かな人材の育成を目指して）

### ・社会に求められる人材育成

- ・環境の変化に対応した魅力ある教育の推進
- ・学生・生徒のワンランク・レベル・アップ作戦

### ・全員参画による部門別（学部・学科etc.）運営

- ・部門別運営計画の策定と目標管理の導入  
法人の事業目標を受けて、各部門が自分達の計画を議論し、各部門の課題と目標を設定、実行、検証する。

### ・業務改革の推進（原点にもどりゼロ・ベースで）

- ・教員、職員の意識改革（危機意識の共有）
- ・事務職員から経営管理職員へ（課題解決提案型へ）

### ・新人事制度の導入の検討

- ・教員の任期制度の検討
- ・教員・職員の業績評価制度の検討

### ・学部・学科の改編とキャンパスの再配置計画の立案

### ・内部監査・外部監査制度の確立

- ・法とルールへの遵守

## 学園ビジョン

学生第一主義の  
活力ある学園づくり

### 教育力の強化

（ワンランク・レベル・アップ）

- ・魅力ある学部づくり
- ・授業評価実施による魅力ある講義づくり
- ・個人活動の把握
- ・教員の任期制度の導入

### 企画・管理部門の強化

- ・指示待ちから戦略的職員へ、意識改革
- ・課題解決提案型の仕事のやり方
- ・問題点の早期発掘とその解決
- ・データ・ベースの整備・構築

建学の精神  
大学の理念  
中長期運営方針  
各期の大学経営方針  
月次決算・予実算管理の実施

学技士」の不足は歴然としています。「医療電子コース」の新設は、このような問題を早急に解消しなければならぬ社会的要請に込めるものです。今年度は「医療電子コース」初年度の円滑な運営と将来計画立案を推進してまいります。

また、人間環境学部は21世紀の環境問題を文理融合の立場から教育研究する学部として設置しましたが、より一層の発展を目指し、特に理工との連携を強化していくために、工学部および情報学部との再編を検討しています。

新しい時代の要請に応えた魅力ある学部づくりにおいて、教員が学生による授業評価を真摯に受け止め、学生の基本的能力の育成と学習意欲の向上に積極的に取り組むことは必要不可欠であります。教員が主体的に学生による授業評価を継続して実施し、それに基づく自らの意識改革を積極的にすることで、学生に最大の満足が得られる「感動のある教育」が実現できるものと確信しております。

・カリキュラム改革による共通・基礎・言語教育のシンプル化とその充実

本学の学生は本学の教員が責任をもつて、しかも教員・学生の協同作業で「感動のある教育」をつくり出さなければなりません。このような趣旨から考え、本年度は共通・基礎・言語教育の3センターの位置づけと見直し、そして全学的なカリキュラム改革を積極的に推進してまいります。専門教育へつながる共通・基礎・言語教育は教育の根幹をなします。その教育を本学の教員が責任もつて行い、「教育力の強化」へつながるカリキュラム改革を英断を持って実行します。

・徹底的な業務の見直しと経費の削減

今年度から部門別月次決算を導入してまいります。それによりリアルタイム経営と「見える化」により経営のスピード化と効率化を進めます。経費の削減では現状の把握を徹底的

に行い、課題や問題点を抽出し、改善策を着実に実施してまいります。教育研究活動の維持発展を図りながらも、学内業務におけるすべての「ムダ取り活動」を全学で進め、経営の健全化に努めます。

・教職員全員に対する評価制度の導入についても健全で持続可能な経営を行なうという観点から早急に計画を立案してまいります。

Plan・Do・Check・Action (PDCA) を着実に実行し、今年度が将来の発展のスタート点になるよう努めます。

平成19年度の事業計画については、徹底した目標管理を行い、計画されたものは各部門4半期ごとに進捗状況とその予算差異等の報告を理事会で受け、間違いのない経営の舵取りをしていきます。

## 2007年度大学事務局運営方針

(すべての業務を「ゼロ・ベース」で見直し)

### ・業務の見直しと業務革新

事務各課の仕事のやり方(課題解決提案型へ)の革新  
・部門別月次決算の導入

### ・大学学部入学者数目標値の達成

- ・募集活動の強化充実
- ・2006年度活動の反省と2007年度活動への反映
- ・入学金と奨学制度の見直し

### ・経費の徹底的見直し

- ・購買調達方法及び経費の徹底的な見直し

## 2007年度大学・大学院運営方針

### ・魅力ある学部づくりと学部・学科の将来計画

- ・医療電子コースの定着化
- ・人間環境学部の改革、活性化
- ・機械工学科のJABEE認定取得に挑戦
- ・非常勤講師の派遣および受入の改変
- ・教員組織・配置の見直し

### ・大学学部入学者数目標値の達成

- ・募集活動の強化充実
- ・2006年度活動の反省と2007年度活動への反映
- ・入学金と奨学制度の見直し

### ・学部・学科・大学院別2007年度運営方針の立案とその実施

- ・目標管理の導入(授業評価結果のワースト3の改善)

### ・カリキュラム改革による共通・言語・基礎教育の再編

- ・カリキュラムのシンプル化・スリム化・3学部共通化
- ・3教育センターの見直し

### ・産学官連携の積極的推進

- ・外部資金獲得の推進
- ・大学院および研究所におけるプロジェクト研究への取組
- ・地域社会との交流による社会貢献活動の推進

### ・2008年度認証評価受審に向けた取組

## 2007年度附属高校運営方針

### ・魅力ある学園づくり

- ・高大連携教育の準備
- ・生徒のワンランク・レベル・アップ

### ・生徒募集体制の見直しとその充実

- ・安定した入学者確保のための重点施策立案とその実施

### ・基本的生活習慣の確立と学校の活性化

- ・心技体とバランスのとれた生活・学習指導の徹底
- ・「学ぶよろこび」を習得できる教育の実施
- ・部活動の活性化

### ・経営体質の改善

- ・校納金の見直し

### ・学校評価の実施と課題の改善

# 特集

## 卒業

3月1日に附属高校が卒業式を挙行し、3月15日には大学院学部、別科日本語研修課程の卒業式・修了式が挙行されます。附属高校の卒業式は新しい門

出にふさわしく春の陽気に包まれ、144名の生徒が本校を巣立ちました。卒業を前に学園生活を振り返りかえって、卒業生からメッセージをいただきました。

大学院工学研究科修士課程  
構造工学専攻

野元 隆洋さん

- ①鹿児島県
- ②財団法人日本海事協会
- ③本学工学部・船舶工学科出身  
学部の3年生の時、中国・ハルビン工程大学へ留学。  
学部卒業後、就職するが、大学院へ入学してきました。



①出身県 ②就職・進学先 ③学生紹介

工学部・船舶工学科

田村 太海さん

- ①鹿児島県
- ②檜垣造船株式会社
- ③鹿児島育英館高校出身  
小型船舶操縦士1級、潜水士の資格を持ち、実習などでアシスタントを務めました。



私の思い出は、海に接する機会が非常に多く充実した大学生活でした。  
海洋スポーツ文化センターでの活動は、ディンギーの製作、地域の人たちをヨットに招待してクルージング、大学所有の船舶の整備など、海に関することを多く学ばせてもらいました。  
春からは、造船所の仕事に就きます。  
後輩の皆さんへ、もつと海と接する時間を持ってもらいたいと思います。

目標だった二輪業界に就職!!

14ヶ月間の海外留学で卒業は2年遅れましたが、留学以前から目標にしていた二輪業界に就職することができました。

最高の思い出は、連うクラス入学時の他に2学年下のクラス)の友人が出来たことです。不安もありましたが最後はみんな仲良くなくて最高でした。

これからは二輪車を通じて様々な国を訪れたいです。  
みなさん希望を持って頑張ってください。

最高の思い出は、連うクラス入学時の他に2学年下のクラス)の友人が出来たことです。不安もありましたが最後はみんな仲良くなくて最高でした。

工学部・機械工学科

清水健太郎さん

- ①長崎県
- ②株式会社モリワキエンジニアリング
- ③本学附属高校の出身  
4年生に進級する前にニュージーランドへ留学。  
4月からは夢の世界への第一歩を踏み出します。



工学部・建築学科

松島 加奈さん

- ①長崎県
- ②大学院工学研究科修士課程  
環境計画学専攻
- ③県立長崎シーボルト大学を卒業後、本学へ編入学。  
建築設計への夢の実現へ向け頑張っています。



私は長崎シーボルト大学の四年生から一年間NICEキャンパスで本学に通い、後に三年次に編入学しました。当初、驚いたことは、本学の教授と学生、学生同士の関係が非常に深いことでした。また、学外活動に取組む学生が多く、私もその一人で、環境活動に力を注ぎました。廃油キャンドル作り、CO<sub>2</sub>削減を呼びかけるもので、多くのメディアにも取り上げて頂きました。活動を通して多くの人々との繋がりを持てたことは大きな財産です。

工学部・電気電子情報工学科

大場麻衣子さん

- ①長崎県
- ②株式会社協和エクシオ
- ③長崎西高校の出身  
コンピュータの勉強をするため本学へ入学。  
LED研究の傍らで、大学のPR活動に協力してきました。



大学生活で一番印象深いのは、三年生になってから入ったキャリア・ネット・カフェというサークルでの思い出です。様々な活動を通して、話し合い、協力し、助け合ってきた仲間達は、一生の宝物です。  
春からは通信建設会社で働く予定です。期待と不安が入り交じった心境ですが、皆さんの携帯に電波を届けるべく、挫けず頑張りたいたいと思います。  
最後に後輩の皆さんへ、どんな時も「マイペース」を崩さないでください。  
悔いの残らないように。

NICE キャンパスは県内の大学・短大・高専が参加した単位互換制度です。

人間環境学部・環境文化学科

### 中道 隆広さん

- ①長崎県
- ②大学院工学研究科修士課程  
環境計画学専攻
- ③諫早農業高校出身  
森林科学科でバイオマスや水中測定方法などを勉強して本学へ入学。



大学4年間は、あつという間に過ぎて行ったと感じます。この4年間で、弓道部の主将を2年間務め、良い友人にも多く知り合えたから退屈する暇なんて無い大学生活でした。

私は卒業後、大学院に進み、化学系の研究を続け、将来は大学院で学んだことを活かしたいと考えています。

最後に、大学生の時は色々なことに挑戦してみるべきです。勉強も大切ですが、遊びで怪我する遊びが出来るのは大学生だけですよ！

毎日が楽しくて、後悔しない学生生活が送れば、それが一番だと思えます。私は、学部在学中に中国へ留学し、卒業が遅れました。更に、卒業後に3年半働き、大学院に入学しました。大学院修了後は2度目の社会人生活の開始です。

これからも、常に前向きな気持ちでやる事、やりたい事を必死でやって、後悔のない生活をしていきたいです。

学部時代は遊んだ方が良いでしょう。これも社会勉強。金が無くても時間はある。単位を落とさない程度に遊んで欲しい。

工学部・経営システム工学科

### 三住友李香さん

- ①佐賀県
- ②株式会社アシスト
- ③唐津東高校出身  
キャリア・ネット・カフェの二期生として、本学のみならず他大学生や社会人との交流を深めてきました。



学生生活を充実させてくれたものはキャリア・ネット・カフェの存在でした。漠然とPCを学ばないと入学した私でしたが、サークル内で多くの学生や社会人の方と触れ合ったことで自分のことを客観的に見る良い機会がたくさんありました。漠然としていたものは徐々に形になり、今でははっきりと、PCに関わる仕事がしたい」とい思いになりました。

四月からは、PCに関わる仕事をします。

いつまでも真っ直ぐに向き合いたいと思います。

### 144名が学び舎を巣立つ

3月1日、体育館で第43回長崎総合科学大学附属高等学校の卒業式が挙行され、144名の生徒が一人一人思い出を胸に学びやを巣立っていました。

3年の担任が卒業生の名前を一人ひとり読み上げ、卒業生を代表して相川友幸君が時津政憲校長より卒業証書を授与されました。



## 附属高校 第43回卒業式を挙行



時津校長より「新たな旅立ちにあたり、三つのことをお願いしたいと思います。一つは、『自分を知って欲しい。自分を知るために、生涯学ぶ心を手放さないで欲しい』。二つ目は『平和な国際社会づくりに努力していただきたい』。三つ目は『諸君をこの世に送り出してくださったご両親に対する感謝の心と敬いの心を大切にして欲しい』とはなむけの言葉が述べられました。卒業生を代表して古賀陽



君より「私たちはこの三年間の中でかけがいのない素晴らしいものを手に入れることが出来ました。そして私達はこれからそれぞれの道へと進むこととなります。さらなる学びを求めて進学する者、実社会に出て働き始める者、道は様々ですがスタート地点はこの長崎総合科学大学附属高等学校なのです。これから進む道は良いことばかりではないでしょう。厳しく逃げ出したくなる時もあるかもしれませんが、そんな時この附属高校で学んだことを自分の原点として乗り越えていこうと思えます。」とお別れの言葉が述べられました。

卒業生は、教職員、在校生、保護者が見送る中、会場を後にし、友との別れを惜しみ、記念撮影をするクラスもありました。



人間環境学部では、ISO 14001 認証取得を目指し、「環境管理マニュアル」を作成し、環境方針を達成するためのPDCAサイクルを確立。定期的な勉強会や講習会を重ね、学生・教職員が一丸となって取り組んだ。

第1回審査(1月23、24日)で環境マネジメントシステムと記録類の審査、第2回審査(2月20、21日)で運用に関する審査が行われ、3月2日認証を取得しました。



「ISOの家」の会議

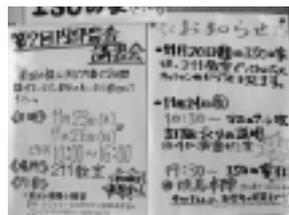
### 学生が主体的に活動

本学の特徴は、学生が主体となって認証取得へ向けて取り組んできたことで、その中心となっているのが「ISOの家(イソノケ)」です。人間環境学部の1年生から4年生までの学生で構成されています。認証取得に向けた活動の他、地域の清掃活動、学内美化、学園祭でのイベント、リサイクルの推進、廃油回収(BDFバスに利用)、内部監査員の養成、QRコードによる古紙回収など、学生らしく活発な活動を行っています。

### ISO 14001とは

国際標準化機構 ISO が定める ISO14000s(シリーズ)環境マネジメントシステム規格』です。ISO14000sのうち中核となるISO14001は、環境マネジメントシステム(EMS)をどのように構築すればよいかを定めた仕様書です。

自ら環境方針および目的を定め、その実現のための計画(Plan)を立て、それを実施及び運用(Do)し、その結果を点検及び是正(Check)し、さらに次のステップを目指した見直し(Act)を行うというPDCAサイクルを確立します。それによって、環境マネジメントシステムを継続的に向上させ、環境に与える有害な負荷を減少させることをねらいとしています。



## 環境宣言

### 基本理念

長崎総合科学大学・人間環境学部は、「環境マネジメントシステム」を構築し、日常の大学生活の中で、地球環境に配慮したさまざまな取り組みを実行することによって、人と自然が共生できる社会の実現の一端を担う存在として、社会的責任を果たします。

### 環境方針

- ①環境に配慮し、文化の創造を目指した教育・研究に積極的に取り組み、環境に対する意識が高い学生(環境人)を育成します。
- ②すべての活動に関わる環境関連法規、規制と学内規定等を遵守し、エネルギー使用量の抑制、3R(リデュース、リユース、リサイクル)率の向上等を積極的に推進し、環境汚染を予防します。
- ③環境目的・目標を環境管理委員会で設定し、定期的に環境マネジメントシステムを見直し、継続的に改善を図ります。
- ④地域と連携することによって、地域の意見を反映できる環境マネジメントシステムを目指します。

以上の方針は文書化し、全構成員に周知徹底するとともに、学外からの要求、その他必要に応じて情報をホームページを通じて公表いたします。

平成18年6月1日  
長崎総合科学大学人間環境学部  
学部長 横山 正人

### 環境目的・目標

#### 著しい環境側面

コピー用紙	(H18:10%)	H19:20%	削減
電気の使用	(H20:20%)	H19:15%	削減
ゴミの削減	(H18:5%)	H19:10%	削減
毎週発生量の計測	(H20:10%)	H19:8%	削減
ゴミ減量!!			

### 望ましい環境側面

- ・環境に関する研究活動の促進
- ・雑誌その他に年5報の投稿
- ・環境に関する教育活動の推進
- ・環境に関する講義の教育内容の充実
- ・環境に関する社会活動の推進
- 【教職員】
  - ・学外の環境に関する委員などへの積極的な就任
  - ・NPO活動をはじめとした環境に関するボランティア活動の推進
- 【学生】
  - ・地域における環境ボランティア活動の推進

### 環境シンポジウム

11月11日、学園祭の初日に環境シンポジウムを開催。人間環境学部環境文化学科4年で、ISOの家・環境管理責任者(学生代表)でもある佐喜眞より子さんが総合司会・コーディネーターを担当し、企画・運営はISOの家の学生らが分担しました。



環境カウンセラー 榮 信歳氏

『大学のISO14001 取得のメリット』

「目的、目標を定め、どのようにやっていくのか。そして結果が悪い場合でもきちんとチェックし、新しいプランを作るためのアクションをとるPDCAサイクル(Plan, Do, Check, Action)の考え方を自分のものにしてください」と述べ、「皆さん方が環境について感じる心を身につけてもらいたい。そして自分が何を行動すればいいかを考えてもらいたい。それが大学でやる責務です」と話しました。

『大対馬漂着ゴミに関する活動』

長崎大学大学院  
博士後期課程1年

甲斐 穂高氏

## 清掃活動



7月の市民大清掃へ参加。日見中学校の草刈、日見川、キャンパスと通学路などの清掃活動も行いました。また、月1回第4日曜日に宿町自治会の方と日見公園の清掃を行っています。

## 内部監査委員の育成



内部監査委員をおき、定期的に監査を行い、計画が適切に実施し、維持されているかを確認する必要があります。このため、内部監査講習会を実施し、委員の育成を行います。

## 学園祭



学園祭では、「大学における学生のエコ活動」と題してパネルディスカッションを行いました。また、家庭で不要になった食用油を地域から回収して廃油キャンドルを製作。学園祭でI♡ECOの文字のキャンドルを点灯しました。

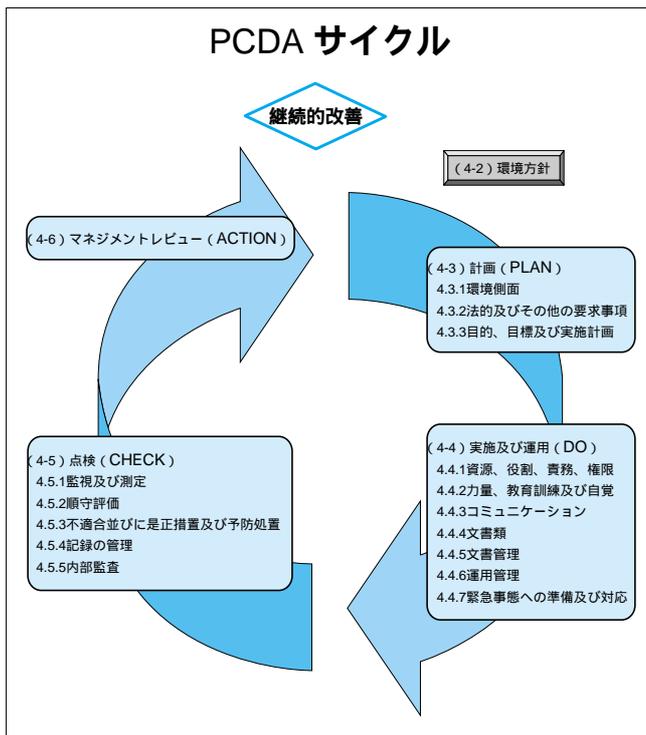
「ISOの家」をリードしてきた4年生。卒業を前に話しを伺いました。活動のきっかけは？1つ上の学年の先輩が「ISOの家」を立ち上げ、卒業研究で「認証取得の意義」について研究。これを現在の4年生が引き継ぐ形となり、活動をしていくために4月のオリエンテーションで人集めを行いました。教員からの呼びかけもあり、「ISOの家」は4年生6名、3年生13名、2年生13名、1年生8名の計



ISOの家・環境管理責任者(学生代表) 佐喜眞より子さん

40名の体制になりました。みんな一からの出発でISO14001の意味から勉強を開始しました。JQA(財)日本品質保証機構)の方に福岡からお越し頂いて、具体的な手続き等の説明していただいたり、環境の先生方からは資料を頂いたりしました。また、石橋先生が長崎大学で認証取得に携わっていたことは私たちに心強く感じました。認証取得できた率直な気持ちでも苦労した分、達成感があります。学生個々の意識が高く、動いてくれる学生が多かった。それぞれ自分ができていることを積極的に担当し(絵がうまく、文章が上手な人など)、個々の活動の集結です。

## PCDA サイクル



ISOの家メンバー 松本 亜衣さん

継続していく上で大事なこと意識を持ってもらうこと。認証は取得できたけど、課題はまだまだある。認証事務に追われて外に向けての活動ができなかった。また、他の学部を巻き込み大学全体の取り組みにしたい。

先輩へ「楽しんで続けてやっていけない。ただ、やらないといけないことはやってね。」工学部、情報学部の学生さん、環境活動を一緒にしていきたいです。



ゴミは世界規模の問題である「環境というものは立場が変われば気づくことがある」ということを再認識させられました。そして、「自分の足で動いて、自分の目で見て感じて、自分で触れてみて、いっぱいチャンスを作ってください。チャンスが成長の第一歩だと考えます」と話しました。

休憩をはさみ、第2部は本学をはじめ長崎大学や県立シーボルト大学、長崎国際大学、長崎県立大学などの学生がパネリストとして活動をプレゼンテーションし、「大学における学生のエコ活動」と題してパネルディスカッションを行いました。



「ISOの家」のホームページ [http://nc.he.nias.ac.jp/he/iso 306 e 5 bb 6](http://nc.he.nias.ac.jp/he/iso%20306%20e%205%20bb%206)

対馬における韓国、長崎の大学や対馬市民の方々の活動を通して見えてきたこととして「漂着

### TOPICS ①

#### 医療電子コース開設 記念シンポジウム開催

11月25日、長崎県医師会館において、医療電子コース開設記念シンポジウム（医・工連携に向けて）を開催。

これは、2007年4月、工学部電気電子工学科に「臨床工学技術」国家試験の受験資格を得ることを目指した「医療電子コース」の開設予定を記念したものである。



学長 林 一馬



井石 哲哉 氏

当日は、林一馬学長の挨拶の後、井石哲哉氏（長崎県医師会会長）と医学博士でもある富岡 勉氏（衆議院議員）から来賓祝辞が述べられた。



富岡 勉 氏



吉野 勝美 氏  
工学部電気電子情報工学科教授  
大阪大学名誉教授  
工学博士

#### 「最近の医療と電子工学の接点」

最近の医療機器、技術が電子工学の技術を取り込み支えられている。これらの流れは更に大きく発展するとともに、高度・多様化し、電気電子工学と医学、医療分野の融合は更に重要なものとなり、新しい可能性も現れてくるのは間違いなく。これまで自身に関連、経験した事を中心に電気電子工学と医療、診断の関連の流れ、先端電子技術を生かした医療、診断技術などについていくつかの例を挙げて述べられた。



小柳 光正 氏  
東北大学大学院工学研究科バイオロボティクス専攻教授  
本学客員教授  
工学博士

#### 「脳のはたらきと医療電子技術」

頭の中で考えただけで口ポットやコンピュータを操る、こんなSFのような技術の開発が進んでいる。脳のはたらきと医療電子技術や脳で動かす情報機器、特に脳のは



犬伏 俊郎 氏  
滋賀医科大学 MR 医学総合研究センター教授  
日本磁気共鳴医学会会長  
工学博士

#### 「MR画像法の進歩」

磁気共鳴（MR）法は今日臨床においては日常的に利用される画像診断法として定着してきた。外科手術のモニターや、特定の分子や細胞をターゲットにする画像法、分子イメージング等へのMRの展開が始まっている。分子機能計測に長けたPETや近赤外線画像法と、解剖画像の解像度では他の手法を凌駕するMRやCTなどの複数の計測技術を融合したマルチモダリティ画像化技術の発展が予想されること述べられた。



谷山 絨太郎 氏  
長崎大学理事  
株式会社TLO代表取締役社長  
元長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長  
医学博士

#### 「新技術創出と医工連携」

長崎県内において、異分野間の融合を機動的に対応させることにより新技術を創出する戦略がすでに施行され、さらなる推進が図られている。今後の新技術創出に向けた研究の一つの方向性を見出す一助になることを願いつつ、現在進行中の医工連携の具体的な例をあげ紹介された。

#### パネルディスカッション

上記の講演者



4名に有吉正一氏（長崎県臨床工学技士会会長、新里ネフロクリック）と田中義人氏（工学部電気電子情報工学科教授）を加えて、「医療技術・機器の発展とCE・MEの育成を考える」をテーマにパネルディスカッションが実施され、会場からも多くの質問や意見がだされた。

#### 「臨床工学技士」とは

「人の呼吸・循環・代謝にかかわる生命維持管理装置の操作および保守点検を仕事とする医療職種」で、手術室や集中治療室などの生命維持の最前線で、「人工心臓装置」、「血液浄化装置」や「人工呼吸器」などの最先端の医療機器の操作にあたる専門家をいいます。人の命を預かる重要な仕事であるので国家資格になっています。1987年に「臨床工学技士」の国家資格制度ができて以来、現在までに約2万人の「臨床工学技士」が誕生しています。しかし我が国の大病院における「臨床工学技士」の充足率はまだ6割程度と低く、しかも地域格差が著しく、長崎県では2割程度といわれています。

「臨床工学技士」がない中小病院では看護師が「臨床工学技士」の業務を行わなければならないので、「臨床工学技士」の早期充足が望まれています。本学の「医療電子コース」で所定の単位を取得した人は、毎年3月に行われる「臨床工学技士」国家試験の受験資格を得ることができ



シンポジウムの様子は動画配信しています。

URL <http://www.nias.ac.jp/public/index.html>

#### 紀要 第47巻第1号

#### 【工学・自然科学編】

#### 研究論文

水素エネルギー社会に向けて  
清水 明・藤川卓爾  
調和トラップ中の1次元ポロイン系の理論(II)  
大矢正人

A Differential-Geometrical Theory of Binocular Visual Space  
TAKIYAMA Ryuzo,  
KITAJIMA Noriyuki

#### 【人文・社会科学編】

研究ノート  
倭字内外轉札記  
古倭 いしみのぞむ

翻訳  
シヨアーの記憶としての文学  
小川保博

#### 研究活動リスト

## TOPICS ② 教員の活動

清山氏の研究が採択



新技術創成研究所  
研究員  
清山 浩司 氏

10月30日、独立行政法人科学技術振興機構の産学共同シーズイノベーション事業の採択課題が選定され、本年度採択課題が選定され、本学新技術創成研究所の研究員 清山浩司氏とテルモ(株)との共同研究課題「携帯医療機器向け空中インターフェースの開発」が採択されました。この事業は、大学等の基礎

## TOPICS ③ 起業化育成へ 支援施設建設



大学発ベンチャー等の創出を目的に、独立行政法人中小企業基盤整備機構の大学連携型起業化育成施設が長崎市の出島地区へ着手することが決定し、2007年秋頃完成予定。

本事業は、中小機構、長崎大学、県立長崎シーボルト大学と本学の3大学と長崎県、長崎市が連携し、整備運営していく。

研究に潜在するシーズ候補を研究報告会等を通じて産業界の視点で見出し、顕在化させようとするシーズ候補に関して、「シーズ顕在化プロデューサー」を中心とした産学共同研究により、シーズ候補の顕在化の可能性を検証するための「フイージビリティスタディ」を行うことが目的。今回は四百二十件の応募の中から課題の独自性、目標設定の妥当性、産学共同での研究体制の妥当性、提案内容の実行性、イノベーション創出の期待などの観点から選考され、80件が採択されています。長崎県で採択されたのは本学ののみ。

**出張講義**  
高等学校での進路指導や総合学習などに活用していただくため、出張講義を準備して

## TOPICS ④ 就職活動の支援

### 第1回「しごと・職種研究ガイダンス」開催

10月17日、学部3年生を対象とした第1回「しごと・職種研究ガイダンス」を開催。これは、様々な業界・職種に触れることで、自分に合った業界・職種を見つめるための機会を提供するためのもので、今回の試み。第1回目は「文系・職種・しごとと理

います。今年度の実績を紹介いたします。

### 〈高校生セミナー〉

- 6月24日 猶興館高校
- 6月24日 先端科学と集積回路システム 田中義人(電気・教授)
- 6月30日 大分豊府高校(大分県) 林 一馬(学長)
- 7月5日 松浦高校
- これが建築なのだ
- 伴文正志(建築・助教授)
- ロボットの未来像
- 安田元一(知能・教授)
- 7月10日 長崎工業高校
- アルキメデスの原理と浮力について 慎 燦益(船舶・教授)
- 7月15日 阿蘇高校(熊本県) 野瀬幹夫(船舶・教授)
- 7月18日 普天間高校(沖縄県) やさいのはなし
- 西村安代(環境・講師)

### 4年生内定生による就職活動相談会



10月20日、「Career-Net Cafe」の学生たちが「就職活動についてのお気軽相談会」を開催。就職活動が目前に迫った3年生を中心に在学生の就職活動に対する不安や悩みに応え、内定者の自らの経験をもとに就職活動のアドバイスやノウハウを提供しようと、4年生が企画。当日は約20名の在学

「ロボットの未来像」  
安田元一(知能・教授)  
8月22日 中五島高校

- 「ロボットの未来像」
- 安田元一(知能・教授)
- 9月14日 長崎工業高校
- 地球環境と21世紀エネルギー 坂井正康(環境・教授)
- 10月3日 五島海陽高校
- 経済性の評価
- 損得計算の不思議
- 渡瀬 一紀(経営・教授)
- 10月17日 長崎工業高校
- ロボットの未来像
- 安田元一(知能・教授)
- 10月17日 大村工業高校
- 地球環境と21世紀エネルギー 坂井正康(環境・教授)
- 10月20日 博多青松高校(福岡県) 脳をだます
- バーチャルリアリティと感性 北島律之(知能・助教授)
- 11月13日 大村工業高校

### OB・OGを招いて業界・職種研究座談会

11月24日、今後の進路選択の参考にしてもらうことを目的で、「OB・OGと4年生内定者による業界・職種研究座談会」を開催。これは「将来計画フォーラム」(就職支援科目)の受講者を対象に毎年実施。今回はいろいろな業界・職種で活躍する卒業生4名と、既に就職4年生内定者7名が就職活動に対するアドバイスをを行った。

「脳をだます」  
バーチャルリアリティと感性 北島律之(知能・助教授)

- 12月5日 長崎工業高校
- 地球環境と21世紀エネルギー 坂井正康(環境・教授)
- 12月15日 島原工業高校
- 「ロボコンへの挑戦」
- 谷 昇(基礎・教授)
- 12月19日 長崎工業高校
- 「固体高分子燃料電池の研究」 奥村典男(電気・教授)
- 1月19日 長崎明誠高校
- 「ロボコンへの挑戦」
- 谷 昇(基礎・教授)
- 「SSH」スーパーサイエンスハイスクールへの講義も担当
- 10月7日 諫早高校
- 「エネルギーのはなし」 藤川卓爾(機械・教授)
- 10月18日 諫早高校
- 「ロボットの製作について」 谷 昇(基礎・教授)

### 合同企業面談会



2月9日、今年度2回目の合同企業面談会を開催。学生の就職支援を目的に毎年開催しているもので、現3年生を主対象として開催。今回は、九州を本社所在地とする企業7社が参加した。今年度はA日程(12月)とB日程に分け2回開催し、A日程には九州圏外の企業80社が参加。両面談会ともに、約三百名の学生が出席し、熱気に溢れた面談会となった。

## TOPICS 5

### 学生の活動

#### NHK大学ロボコン 書類選考通過



12月21日、本学「N i A S 夢工房」が今年6月に開催される「NHK大学ロボコン2007 A B U A ジア・太平洋ロボコン代表選考会」の書類選考を通過した。応募73チームから25チームが選ばれ、さらに「ビデオ選考」を通過した20チーム程度が大出場権を得る。

#### 菱興ハウスの住宅コンペ ティションの表彰式



11月17日、菱興ハウス（西日本菱重興産）の住宅コンペの表彰式が行われた。これは工学部建築学科「建築設計製図S A」の講義で募集したもの。

#### 最優秀賞

山崎 優紀さん（3年生）

#### 優秀賞

横山 美鈴さん（3年生）  
「House Rium」

佳作  
瀬畑 龍郎君（3年生）  
「中庭を囲む家」  
島袋 泰行君（4年生）  
「K I B I R U」

#### アイスホッケー部員が 国体出場



12月8日、10日、国体第26回九州ブロック大会アイスホッケー競技で長崎県が4位となり、群馬県で開催される本大会への出場権を獲得。長崎県代表チームに、本学アイスホッケー部の高守桂佑君（工学部機械工学科3年）と鈴木晶平君（工学部船舶工学科1年）の2名が選ばれ出場する。

#### LEDで イルミネーション



本学シーサイドキャンパスにクリスマスイルミネーションが取り付けられた。これは工学部電気電子情報工学科の辻史郎教授及び学生7名が製作したもの。  
LED（高輝度発光ダイオード）を使用し、省電力で

長寿命。  
青、赤、緑、白、黄の5色で、キャンパスの木々が鮮やかに照らされた。

#### 新極真空手部員が優勝



第21回九州交流空手道大会において、一般初級軽量級で藤山勇君（工学部電気電子情報工学科1年生）が第3位。一般初級重量級で前田恭兵君（工学部建築学科1年生）が第3位に入賞した。また、新極真空手道長崎県交流大会において一般の部で前田恭兵君が優勝した。

#### スピーチコンテスト



12月16日、第43回スピーチコンテストを開催。フランス語の部12名、日本語の部に別科日本語研修生8名及び学部と大学院の留学生4名がエントリー。フランス語の部は、暗唱・朗読」と「暗唱の競演」、日本語の部は「スピーチ」に分かれて発表した。  
コンテストの後、表彰式や交流会も実施された。

#### 「ながさきITフェア」

10月20、21日にJR長崎駅かもめ広場で「第8回ながさきITフェア」が開催され、本学からも出展。

「NHK大学ロボコン」に出場したマシンの展示・体験操縦や実演のほか、情報学部の池末教授と学生による「長崎水辺の映像祭」の学生ボランティア活動紹介などを行った。



#### 「科学の祭典」

10月21、22日に長崎市科学館で「青少年のための科学の祭典2006」第10回長崎大会が開催され、本学からも出展した。

#### 「ものづくりフェスタ」



11月25、26日に長崎市浜町ベルナード観光通りで「ものづくりフェスタ2006」が開催され、本学の「N i A S 夢工房」が「NHK大学ロボコン」に出場したマシンの展示・体験操縦などを行った。

## TOPICS 6

### ドクターヘリの 離着陸場



長崎県が昨年12月からドクターヘリ（救急医療用ヘリコプター）の運行を開始するため、専門家による現地調査により本学シーサイドキャンパスの総合グラウンドがヘリの離着陸場の候補地として選ばれ、本学は協力することとなった。

## TOPICS 7

### ヨットの クルージング



10月22日、日見小学校の児童が、10月28日、たちばな学童クラブがヨットやモーターボートで橘湾のクルージングを体験した。

## TOPICS 8

### テレビ・ラジオ 取材・放映

BDFバスと  
バイオマス研究



また、2月6日、NBC長崎放送が「クリーンNiAS号」とバイオマスの研究を取材。その日の「報道センターNBC」の中で紹介された。

1月30日、BDF燃料で走るバス(「クリーンNiAS号」とバイオマスの研究がKTNテレビ長崎の取材を受け、この様子が2月7日「できたてGopan」の中で紹介された。

取材を受けたのは、今年1月16日にネーミングが決まった「クリーンNiAS号」。外観、「てんぷらの香りがする」(排気される)煙、一般道を走る様子が撮影され、藤川卓爾(工学部長)がBDFバスについての説明を行った。また、石油などの化石燃料の代替エネルギーとして期待されるバイオマスエネルギーについて、環境バイオマス研究室での実験の様子が撮影され、坂井正康(人間環境学部教授)がバイオマスエネルギーについての取組みなどの説明を行った。



**ペーロン船の模型製作**  
工学部船舶工学科の2年生4名が、船舶工学科後期科目の「プロジェクト2」において、10分の1のスケールのペーロン船模型を製作し、1月25日の講義の際に、取り組みについて発表した。この様子と学生へのインタビューをNIB長崎国際テレビが取材。その日の「ニュースリアルタイム」の中で紹介された。

「迷っちゃうな」という番組内、「迷っちゃうな」という企画。内容は方向音痴に関するもので、北島助教は感性心理学とパーチャルリアリティの研究を行っており、専門家の立場から、方向音痴における男女間の違いや道に迷わない方法などについて語り、生活に密着した簡単な脳トレ術も紹介した。



### 「迷っちゃうな」 方向音痴について解説

2月8日、NBCラジオオスキッピーによる取材があり、北島律之(情報学部知能情報学科助教)がインタビューを受け

「長崎の教会群」  
世界遺産暫定リスト入り  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が、文化庁がユネスコに提出する世界遺産登録の暫定一覧表に入ることが決定。本学の林一馬学長は、県内に点在する教会群の価値に早くから注目し、「長崎の教会群を世界遺産にする会」の会長を務め、世界遺産登録に向け活動してきた。  
(主な放送)  
12月13日 NBC長崎放送 「あっ!ぶる」  
12月18日 NBCラジオ  
2月2日 KTNテレビ長崎 「できたてGopan」

## TOPICS 9

### 本学への訪問

長崎明誠高校



10月16日、1年生40名と引率教員2名が「関心のある大学・専門学校を訪ね、説明並びに施設見学によって進路選択の視野を広げるとも目的をもって学習に取り組む態度を養うこと」を目的に本学を訪れた。長崎明誠高校出身の鳥辺哲人君(工学部機械工学科4年)が大学への進学などの紹介や、大学の学習内容を紹介する常設展示場を見学し、学生や教員から詳しい説明を受けた。

長崎南高校  
11月16日、1年生21名と引率教員1名が「職場訪問」で本学を訪れた。生徒が希望する職業の中身や、予めいただいた疑問・質問へ応える形で、関連する学部学科が教育・研究の紹介を交えて見学会を行った。



長崎鶴洋高校  
11月24日、1年生25名と引率教員2名が「高校と大学の

違いや学生生活の様子を知る」ことを目的に本学を訪れた。大学の学習内容を紹介する常設展示場を見学した。



長崎北陽台高校  
12月16日、理数科2年生80名が来学し、本学教員による体験学習を行いました。理数科の教育活動の一環として「本物」との出会いをスローガンに本学での理学や工学分野に関する学習を体験した。



韓国・釜山大学  
12月19日、韓国・釜山大学より学生30名、引率の教員4名が本学を訪れ、船舶海洋試験水槽や機械工学科の実験装置を見学した。



これは本学の矢島浩大学院工学研究科長、工学部機械工学科教授)が技術交流のあ

るKANGSUNGWOON教授からの要請を受けたもの。三菱重工長崎造船所、新来島ドック、九大、阪大、東大を視察し、帰国した。

# 学園祭「造大祭」 & オープンキャンパス 全国高校生 アイデアコンテスト

11月11、12日の両日、学園祭「第43回造大祭」を開催。テーマ「がんばらば〜友と共に〜」には、造大祭に訪れた方々への活力になればとの関係者一人一人の願いがこめられた。

実行委員長の南 千春さん（工学部建築学科2年）を中心に、1、2年生の実行委員のメンバーが企画立案、パンフレット制作、広報活動など造大祭の盛り立て役を担った。前夜祭で打上げ花火、11日は馬場俊光LIVEや、ピンゴ大会、12日はMr.長総大や、NHK大学セミナー加藤夏希トークライブ、ザマギLIVEが企画され、また、沖縄工イサーや学生LIVEが会場



を盛り上げていた。その他、リアルタイムFLASHゲーム、電子工作、おもしろサイエンス、原爆・平和展など学部・学科等の教育・研究内容も紹介されていた。

## 第9回 全国高校生設計アイデアコンテスト

優秀賞

「春なのに 夏だから  
秋らしい 冬もいい」  
後藤あさみさん  
大分県立日田林工高校3年



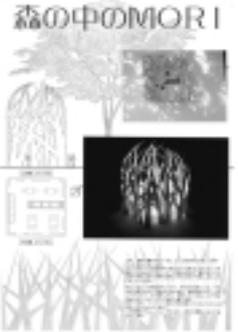
優秀賞

「小さな一人旅」  
寺村 知世さん  
三重県立四日市工業高校3年



優秀賞

「森の中のMORI」  
芦沢 将太さん  
山梨県立甲府工業高校3年



「大学のキャンパスに、学生と教職員が集う楽しい空間の設計を募集。選考結果を報告します。」

## 第2回全国高校生 デジタルメディア コンテスト

デジタルアート部門

「ロハス」をイメージしたCG作品（動画を除く）を募集。選考結果を報告します。

最優秀賞：菅野 美里さん

福島県立いわき総合高校3年

優秀賞：高井 郁哉さん

三重県立四日市工業高校3年

優秀賞：津島 佑佳さん

福島県立いわき総合高校3年



# 附属高等学校

## 第2回 全国高校生ビオトープ設計アイデアコンテスト

最優秀賞

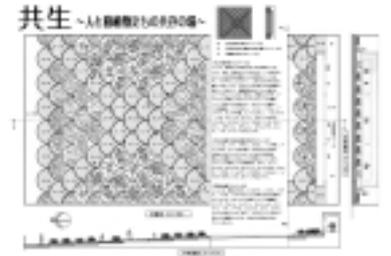
「生命（いのち）の空間」



森本里奈子さん  
長崎県立島原工業高校 3年

優秀賞

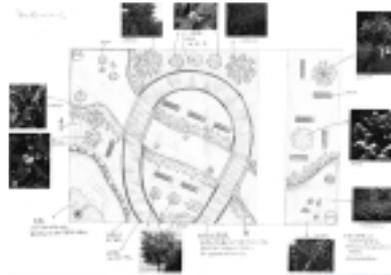
「共生、人と動植物たちの  
共存の場」



高野 翔太さん  
山梨県立甲府工業高校 3年

優秀賞

「香りと癒しのビオトープ」



柴田美帆子さん  
大阪教育大学附属高校 1年

「滝があり、鳥が住むビオトープ」というテーマで設計を募集。選考結果を報告します。

## 人命救助で表彰



1月15日、本学附属高等学校1年生の濱崎優人君を含めた市内の高校生4名が、人命救助で長崎北消防署長より表彰され、感謝状を授与された。濱崎君らは、昨年末、長崎市の金比羅山へ登山中、骨折し動けなくなつた男性と連れ添つていた女児2人を発見。119番通報し、男性を抱えながら搬送したり、応急処置をするなどの救助にあつた。

## 第34回 文化祭



10月19、20日の両日、文化祭を開催。テーマは「華開け総附のABILITY」。総合学習によるクラス展示、劇やダンスなどが上演された。討論では「原子力発電は是非か」のテーマで3年3組と2年5組による決勝。熱い議論が交わされた。また、個人上演やクラブ展示のほか、能楽鑑賞会が実施されるなど、充実した2日間を過ごした。

## 附属高校のホームページ リニューアル

URL <http://nias.ed.jp/>



ホームページ部門

自分の学校や住んでいる地域を魅力的に紹介するホームページを募集。選考結果を報告します。

- 最優秀賞：佐藤謙伍さん他3名  
宮崎県立延岡工業高校 1年
- 優秀賞：松本 桂さん他2名  
長崎県立島原工業高校 3年
- 優秀賞：山本愛実さん他1名  
宮崎県立佐土原高校 1年



## 研究室を訪ねて



- 西村安代先生をたずねて -

### 植物を育てる仕事に

祖父母が農業をしていて、そこに遊びに行くのが好きでした。また、自宅の庭にもいろいろな果実や花木が植えてあり、幼い頃から植物に接する機会が多く、その頃から植物を育てるような職業に就きたいと思っていました。

私が大学に入る頃、バイオテクノロジーがブーム。また、当時青いバラは幻の花といわれていました。それに興味をもち、本を読んで、自分もオリジナルの何かを作りたいなと思い、農学部へ進みました。

実験室の研究より、外に出て栽培する方が面白いなと思って栽培をする研究室に入りました。その時に出会った先生の影響が大きくなり、今もその先生のお世話になっています。その先生がいなければ本学へも来てないかもしれません。

### 最初の仕事は田植え

大学を卒業してすぐ、農業のメーカーに就職しました。田んぼやゴルフ場の除草剤の研究開発をし、作った製品の実証試験

をしていました。だから入社してすぐの仕事は田植えだったです。小さな田んぼに入って手植えしました。

3年くらい経ってからは、この会社が農業部門から撤退することになり、恩師に相談して大学院の社会人選抜で入学し、大学院の研究に戻りました。修士を修了してからは県の臨時職員を経て、肥料メーカーに勤めましました。ここでは肥料の開発や、土壌分析(土壌診断)をして農家の人にアドバイスをする仕事でした。実験室にもついで一日士を分析していましたので、外に出て栽培がしたいと思うようになり、恩師に相談したら、高知大学の恩師の研究室の技術補佐員で雇ってもらおうことになりました。このような遍歴を持っています。

### 緊張の連続

私は事務や、人前に立つ仕事に向かないんです。まさか自分が先生になるとは思っていませんでした。

「私の授業はどうですか」と学生に聞いてみました。すごくいい赤面性だし、上がり性なので、緊張の連続です。私は、はじめてここで先生と呼ばれ、何をしたらいいのか、どこまで教えたらいいいのか、苦労しています。先月、学生の卒業発表があり、その時は自分が発表するよりどきどきしました。就職の経験は今ここで生かされています。農業や、有機栽培などの話が授業などの役に立っています。

### 現在の研究は

3月末にはグラウンドの脇にハウスができる予定です。「波長変換フィルム」を使って、メーカーとの共同研究を行います。

可視光線の中にはいろいろな色がありますが、植物の光合成には青と赤の波長が有効と言われ、その中でも赤が一番有効ではないかと言われていると思います。その赤の波長域を増やすことで、野菜の成育や品質に及ぼす影響を調査する研究です。紫外線カットフィルムは試験もしてみました。虫の目が紫外線と他の光を感じて、はじめに明るさを感じます。フィルムによりハウスの中に紫外線が入ってこないというので、ハウスの中に入れてこないと暗闇と昆虫が認識してしまいます。



意外と農業は近代的なんですよ。省力、省エネルギーで、環境にやさしい農業が研究されています。

### 他力本願と出会い

植物は植えて、芽が出て、枯れる。人間で言えば、誕生して死ぬまでを短い期間で学べる。植物を育てることによっていろんな感性や、植育の大切さを教えていきたい。五木寛之さんの著書の中で

## 名前決定!!「クリーンNiAS号」

### 「BDF 燃料で走るバス」の愛称

昨年11月に導入したバイオディーゼル燃料(BDF)で走る「環境に優しい」バスのネーミングを昨年12月より募集。



全国より141件の応募をいただきました。1月15日、審査選考を実施し、名前は「クリーンNiAS号」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞に輝いた原健太郎さんは本学電気電子情報工学科の4年生でした。



1月16日、林学長から賞品のDVDレコーダーが贈呈されました。原さんは現在、卒業研究で燃料電池について研究していて、日頃から環境問題に関心があり、今回のネーミングもクリーンなエネルギーからイメージしたとのこと。

### 「BDFバス」愛称の選考結果

- 最優秀賞：「クリーンNiAS号」
- 優秀賞：「NiAS・エコバス」  
(福田 清様、群馬県、47歳)
- 佳作：「エコ・クリーン号」  
(仲嶺真哉様、沖縄県、34歳)

## 編集後記

「他力本願」の仏教における本来の意味を知りました。自分一人では生きていけない。みんなを支えて生きている。だから感謝を忘れず、思いやりをもつて生きて欲しいと思います。あとは出会い。私も大学の時に出会った先生に影響されて、今の道があります。出会いを大切にして欲しいと思います。

西村安代  
人間環境学部環境文化学科講師  
静岡県生まれ

【学歴】  
・高知大学農学部暖地農学科卒業  
・高知大学大学院農学研究科暖地農学専攻修了  
博士(農学)

【職歴】  
・永光化成(株)  
・高知県臨時的任用職員  
・川合肥料(株)  
・高知大学農学部技術補佐員  
平成18年から本学勤務

卒業式 今年生憎の雨でしたが、学生たちは笑顔で学舎を巣立っていました。雛鳥の場合は、巣立ちと言っても十分に飛べるほど育っておらず、たいていの場合は、親は必ずそばについていて、ヒナを見守っているといます。我々教職員も、卒業生をこれから温かく見守りたいものです。(M)

出会いと別れ。4年という月日は、長いようで短く、この大学を巣立つ学生の門出を祝いつつも、どこか物寂しさが残ります。4月、新たな出会い。期待と夢を持って入学する学生。笑顔が絶えない学生生活。学報で伝えることができれば幸いです。(I)



このQRコードで  
本学携帯電話ホームページにアクセスできます